



令和4年度 四国ブロッククラブネットワークアクション
開催日時: 令和4年11月20日(日)
会 場: 東京第一ホテル松山
資料作成者: NPO法人新町スポーツクラブ理事長 小 出 利 一

新町スポーツクラブにおける 地域部活動への取り組み

特定非営利活動法人新町スポーツクラブの歩み

元日本体育協会 総合型地域スポーツクラブ育成 中央企画班班員
SC全国ネットワーク関東ブロック常任幹事・群馬県代表委員
群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長
NPO法人新町スポーツクラブ理事長
新町SVCスポーツ少年団代表指導者

小 出 利 一

今日の内容

いつから

- ・ 新町の紹介 = 地域を知る
- ・ 部活動の地域部活動移行とは

連携
協働

- ・ 言葉の定義を明確に
- ・ 地域として目指すこと (スポーツ界の大変革期へ)

国の予算
ドイツ

- ・ 令和5年度と令和4年度 国の予算
- ・ ドイツから学んだ青少年スポーツ良い環境

我が愛する町 新 町

中山道、江戸から11番目の宿場町として栄え、
明治10年に官営屑糸紡績工場が開業（現在も工場が存在）
江戸時代から外からの人達を受け入れる歴史がある地域
鉄道唱歌 北陸編 11番にも歌われている町



歌川広重作 新町の浮世絵
新町の温井川付近です。



現在も似たような風景です



- ▶ **平成18年1月、高崎市と合併（合併前は多野郡新町）**
新町当時、人口密度町の部日本一・下水道連結率99% 日本一
- ▶ **面積 3.74km² 人口 約12,000人 高齢化率28%前後 東京から98Kmの距離**
- ▶ **学 校 小学校2校（児童数540名）、中学校1校（生徒数314名）2022年4月現在**
上武大学高崎キャンパス（ビジネス情報学部・看護学部）
- ▶ **交通機関 JR高崎線新町駅（東京・新宿へ乗り換えなし）・高速道路のICは新潟方面、東京方面、長野方面と別々のICを選択できて、いずれも10分程度で利用可能**
- ▶ **産業 ハラダのラスクの本店、ハーゲンダッツ工場（世界で4か所の内の1か所）、高梨乳業、クラシエフーズ、テーブルマークの工場、陸上自衛隊駐屯地**
- ▶ **日本初・群馬県初が多い地域**
官営屑糸紡績工場開設、鉄道の駅開業、2車線道路、スリーデーズマーチ発祥、総合型地域スポーツクラブ設立、なぎなた国体正式種目、ボーイスカウト活動県内発祥の地など

行動する時は
⇒ 今でしょ

【今日お伝えしたいこと】

- ・主役は、小中学生等の青少年
- ・地域の青少年達を地域で育むためにどうするのか
- ・主役から意見を聞いて、なにができるのか学校と地域で検討して、できることをやってみましょう。

できない論は時間の無駄

できることをやってみて改善すれば良い

誰も経験したことがない改革

成功も失敗もない ⇒ 行動することが大切

スポーツ庁・文化庁作成

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する
総合的なガイドライン(案)

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン（案）【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化芸術担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
 - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度～令和7年度までの3年間を改革集中期間として重点的に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に
応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
 - ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数・精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

スポーツ庁・文化庁が定義した地域クラブとは

必要性

- ・公立中学校において、学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに地域クラブ活動を整備する必要がある。

地域クラブ活動とは

- ・学校の教育課程外の活動として、社会教育法上の「社会教育」（主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。））の一環として捉えることができ、また、スポーツ基本法や文化芸術基本法上の「スポーツ」「文化芸術」として位置付けられるものでもある。

重要性

- ・学校と連携し、学校部活動の教育的意義を継承・発展しつつ、スポーツ・文化芸術の振興の観点からも充実を図ることが重要である。

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）」に関する意見募集の実施について

募集中

f facebook

twitter

自分たちの地域の宝の青少年達と自分たちのために必要な意見を伝えましょう。

カテゴリー	教育 文化
案件番号	185001271
定めようとする命令などの題名	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン
根拠法令条項	なし
行政手続法に基づく手続か	任意の意見募集

案の公示日	2022年11月17日 NEW
受付開始日時	2022年11月17日0時0分
受付締切日時	2022年12月16日23時59分
意見提出が30日未満の場合その理由	

意見募集要領（提出先を含む）

[意見公募要領](#)

PDF



新町スポーツクラブはスポーツ少年団が 核になって発展してきた理由

おそらく、下記の3点が大きな要素

- ① 1967年から守り続けたスポーツ少年団理念に沿った活動
- ② 1974年から日独同時交流に携わって知っていたドイツのスポーツ環境
- ③ 人材育成によって地域から認知されていたスポーツ少年団活動

クラブハウス 自遊空間「みちくさ」 ～～ 地域サロンを運営 ～～

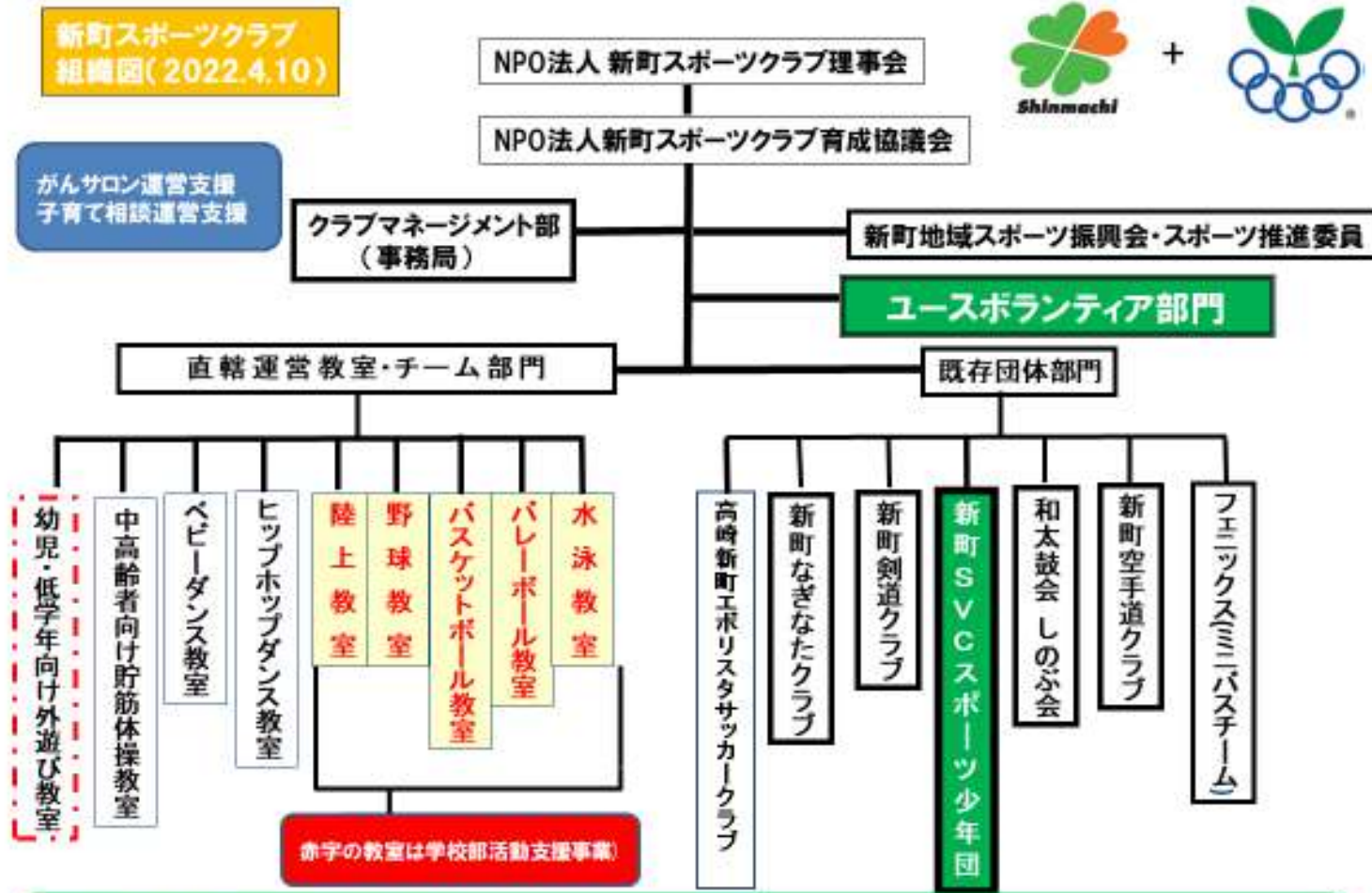


+



高崎市空き店舗対策補助金を活用して、複数の団体で空き店舗を地域サロンとして活用家賃を支払って、スポーツクラブが管理してクラブハウスとして活用しています。WIFIも完備しているので、いつでもオンライン会議も教室も開催できます。

ドイツのスポーツクラブ組織が見本 理事に若年層も青少年層も



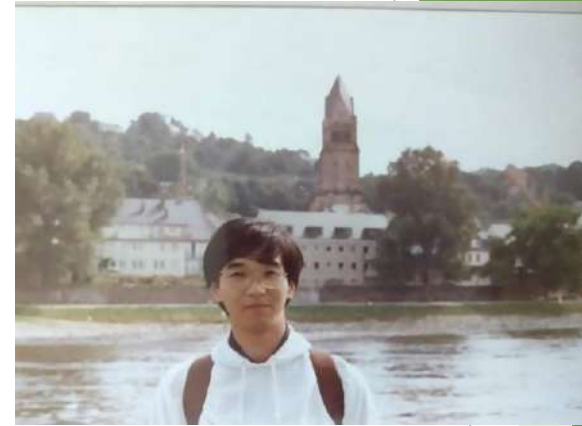
「ユースボランティアも決定権がある組織」
 新町スポーツクラブの理事会には、30歳代のクラブで育ってママになった者、20歳代の学生が決定権を持った理事として活躍しています。これは、ドイツのスポーツクラブの運営を真似てNPO設立からの理事構成員です。NPO以前は、育成委員会運営委員でした。

クラブと連携している企業・組織
 (株)NSP群馬、(株)群馬ヤクルト、NPO法人地域母親支援サージファーム、群馬県地域がんサロンプログラミング学習支援団体RABOTEEs、自遊空間 みちくさ(クラブハウス)

スポーツ少年団と私とドイツの関係紹介

ニュルンベルク市は私の第二のふるさと

- ▶ 1974年(昭和49年)から始まった日本スポーツ少年団の日独同時交流で、西ドイツ(当時)の青少年スポーツ活動について興味を持つ
- ▶ 1980年(昭和55年)、初めて地元 新町で日独同時交流を実施して23名の西ドイツの青少年を受入
- ▶ 1981年(昭和56年)、初めて西ドイツへ(前年、受入れた青少年の家に滞在)
- ▶ 1993年(平成5年)、日本スポーツ少年団指導者海外研修としてドイツへ3週間の研修(ニュルンベルク市・ニーダハンバッハ村滞在)
- ▶ 1999年(平成11年)ニュルンベルク市スポーツクラブと定期国際青少年交流をスタート
- ▶ 2006年(平成18年)サッカーW杯へニュルンベルク市から招待される
- ▶ 2011年(平成23年)日独友好150周年記念として草の根国際交流をしている実績が認められてドイツ連邦共和国から感謝状を受賞
- ▶ 2017年(平成29年)からドイツスポーツクラブ視察研修会をとして、大人向けの研修会(全国から希望を募集)を開始



1981年初 西ドイツ訪問の私(当時22歳)



ニュルンベルク市カイザーブルク



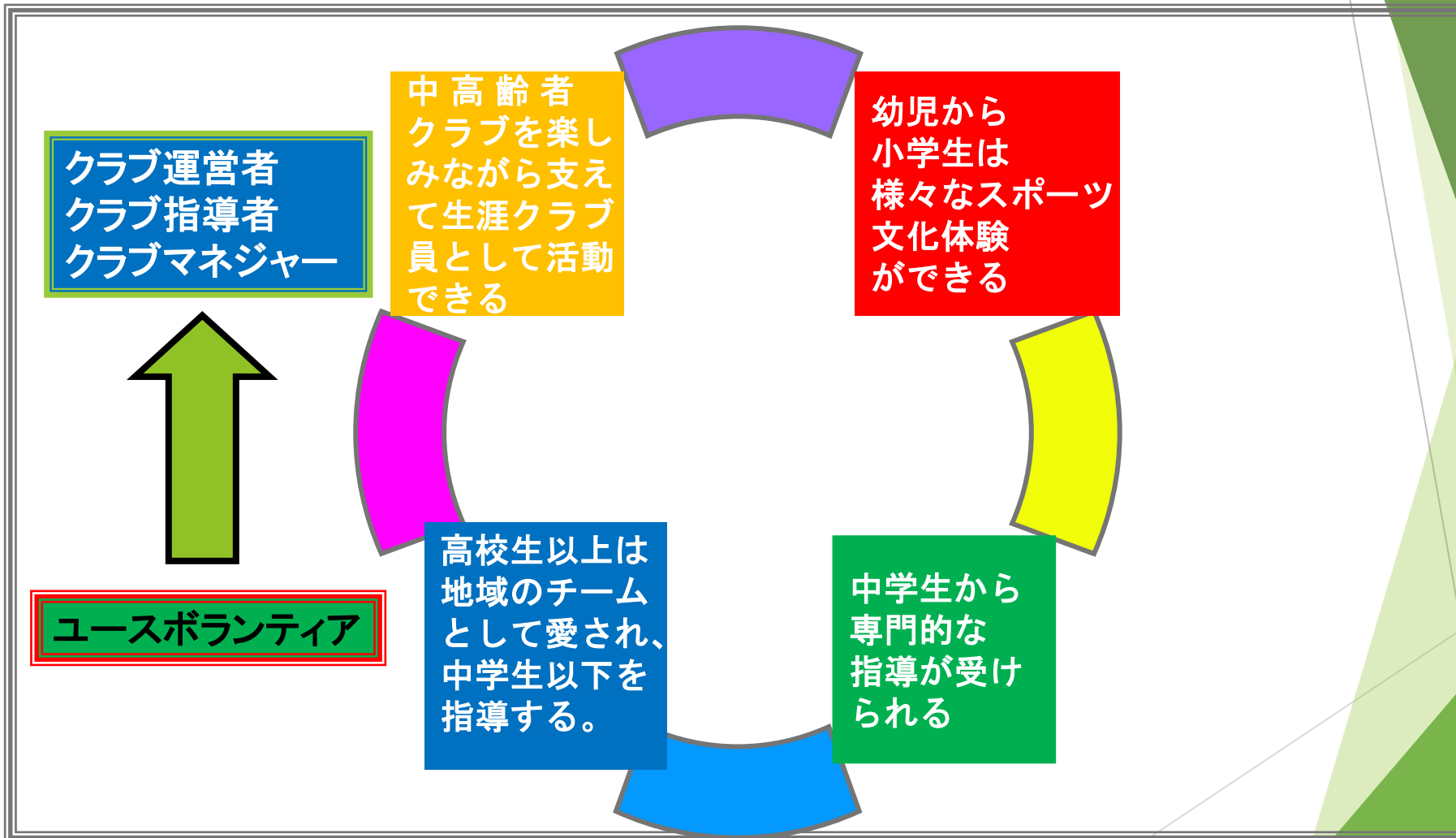
NPO法人新町スポーツクラブ活動理念

- (1) 青少年の健全育成と子どもの体力向上
- (2) いつまでも元気で活動的な中高齢者育成
- (3) 国際国内交流による地域愛の育成
- (4) 地域で育って地域で役立つ心がある人の育成

上記の活動理念を実現するために

- ① 組織作りよりも人材育成からスタート(平成9年当時は、総合型の組織について理解していなかった)
- ② オリンピック・世界選手権・国体に参加できるスポーツ種目で魅力発信
- ③ 高校がない地域性から中学生・高校生のスポーツ教室スタート(地域課題)
- ④ 地域愛を育成するための国際交流事業開始(沖縄交流は、命について考えてもらう事業)
- ⑤ 組織がしっかりする必要があったのでNPOへ、そして、高齢者事業と子育て支援へ

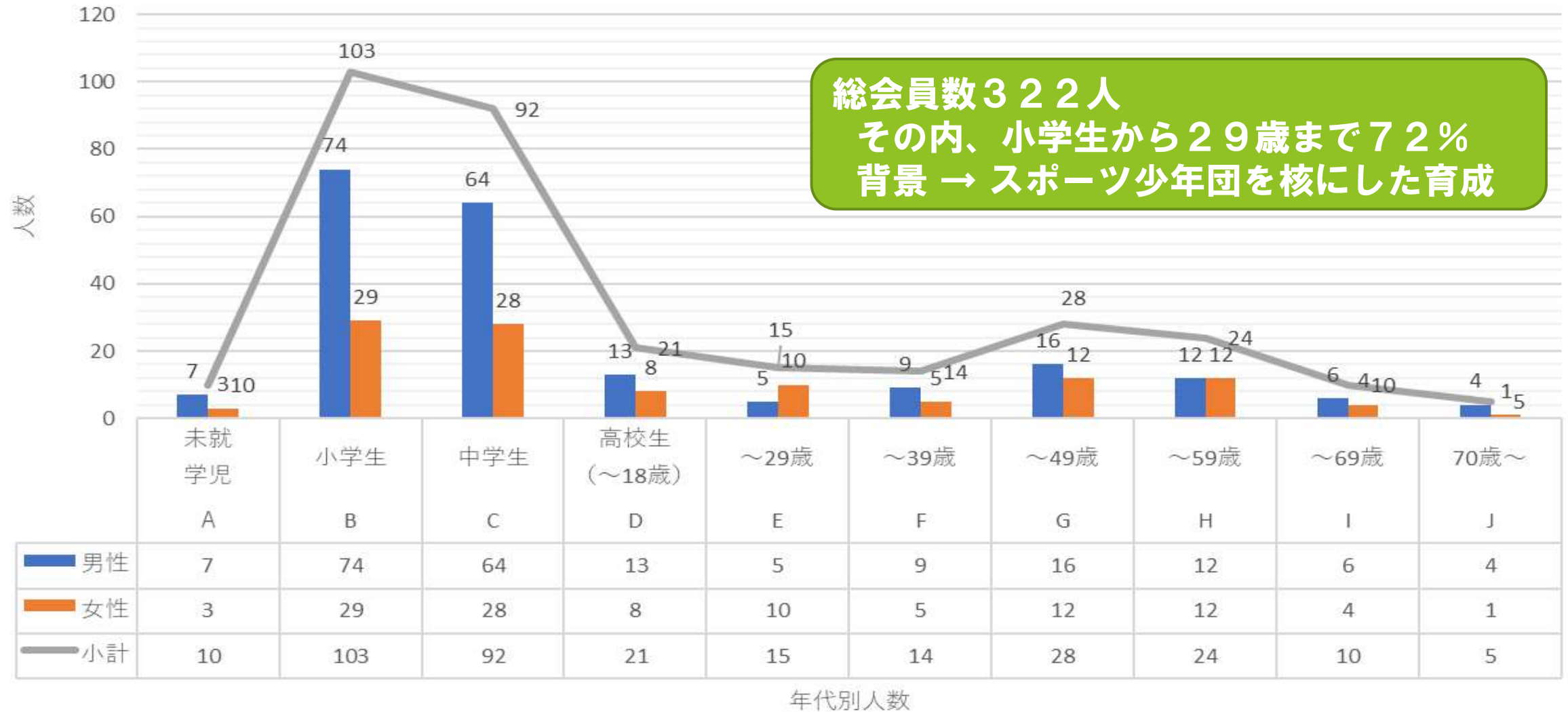
新町スポーツクラブライフサイクル



NPO法人新町スポーツクラブ年代別会員



■ 男性 ■ 女性 — 小計





近未来の新町における 地域部活動の仕組み

学校と地域の協働となる

コミュニティースクール化を視野に入れて

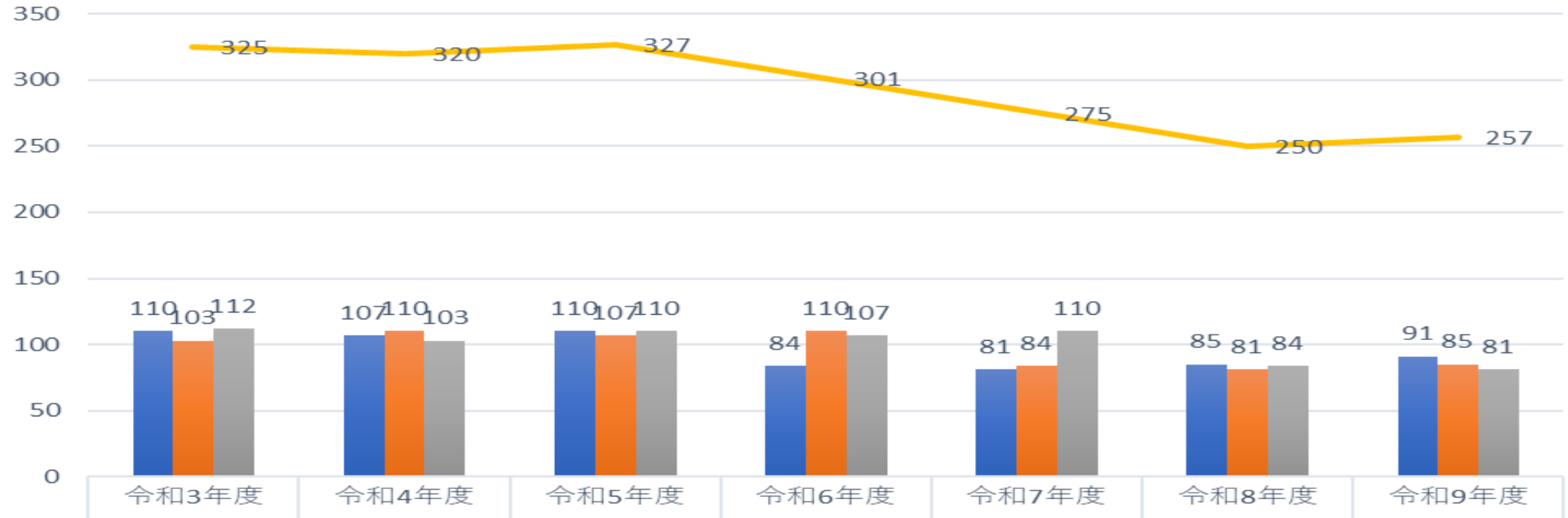


【数字から今後を推測】 高崎市市立新町中学校 生徒数推計値と現状の部活動

令和3年度と令和9年度生徒数推計を比較すると68名減少となる。
現在の部活動を維持することは困難な状況下になる可能性が高い

推定値は令和3年度の児童・生徒数から算出

高崎市立新町中学校生徒数推定値



新町中学校生徒数の推定値

■ 中1	110	107	110	84	81	85	91
■ 中2	103	110	107	110	84	81	85
■ 中3	112	103	110	107	110	84	81
■ 合計	325	320	327	301	275	250	257

■ 中1 ■ 中2 ■ 中3 ■ 合計

令和5年度をピークにして生徒は微減する傾向

現在の新町中学校部活動と来年度の部活動（予定案）

学校とクラブの基本方針 → 生徒数が減っても種目は減らさない

令和4年度

（基本2人顧問制 現実教員が不足）

- ▶ 美術部、吹奏楽部
 - ▶ 柔道部、剣道部
 - ▶ **バスケットボール部男子**
 - ▶ 卓球部男子、卓球部女子
 - ▶ **バレーボール部女子**
 - ▶ サッカー部
 - ▶ **野球部**
 - ▶ ソフトテニス部男子、女子
 - ▶ **陸上部**
 - ▶ **水泳部**
 - ▶ バドミントン
 - ▶ スキー
- この活動は基本学校外の
地域クラブで活動

令和5年度予定（案）

（卓球・ソフトテニス男女を一つにまとめる）

- ▶ 美術部、吹奏楽部
 - ▶ 柔道部、**剣道部**
 - ▶ **バスケットボール部男子**
 - ▶ 卓球部
 - ▶ **バレーボール部女子**
 - ▶ **サッカー部**
 - ▶ **野球部**
 - ▶ ソフトテニス部
 - ▶ **陸上部**
 - ▶ **水泳部**
 - ▶ バドミントン
 - ▶ スキー
 - ▶ **ヒップホップダンス等**
- こうした活動は
学校外活動として
今後も増加

令和5年度から
剣道部、サッカー部の
地域移行を予定
ヒップホップダンス部は、
新しい部活動として
地域で開始予定

全ての生徒が活動
できて、複数種目が
できる環境整備

理想とする地域部活動とは？

- ▶ 現在のスポーツ庁の案には、本来主役であるべき、中学生と高校生側に立った考え方が明確になっていない。本来、部活動は教育の一環という考え方から中学生・高校生の意見が反映できる地域部活動へ
- ▶ 部活動が地域移行しても塾化になることを防ぎ、公立学校として教育的視点を保ちつつ誰でも気軽に参加できる地域部活動とする。

【そのために必要な考え方として】

- ▶ 既存の地域スポーツ振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ推進員という枠を飛び越えて協力体制を構築する。
- ▶ そのうえで、学校と密接に連携した組織を構築して、新町地域の小学生以上の青少年並びに成人が参加できる環境を整備する
- ▶ 中学校は生徒会代表、高校生は地域でスポーツをしている代表を新しい 組織の理事に登用して、青少年世代の意見が反映できる体制を構築する



学校部活動との連携

NPO法人 新町スポーツクラブ



発展途上の学校部活動地域移行

- 青少年達からの提案でスタートした中高校生バレー・バスケ教室
(2001年10月から)
- 2021年4月に着任した校長自らの申し出によってスタートした
野球教室 (2021年11月から)
- 中学校からのリクエストによって、クラブが連携している町内屋内
プール指定管理企業の協力でスタートした水泳教室
(2022年4月から)
- 平成19年度陸上部復活に支援して、途中で指導者の仕事の
都合で活動が休止した陸上教室を再開 (2022年6月から)

新町スポーツクラブ入会（継続）申込書

令和 年 月 日申込

入会希望者 氏名(フリガナ) 性別	生年月日 学校名・学年	入会希望団体・教室																	
		新町SVCスポーツ少年団	新町のび会	剣道クラブ	なぎなたクラブ	新町空手道クラブ	AVSGエヴォリスタ	バレーボール教室	新町PHOENIX (ミッドバスケボール)	バスケットボールサークル	ヒップホップダンス教室	野球教室	陸上教室	家族会員					
希望する団体・教室の欄に○をつけてください																			
フリガナ 氏名	S・H・R 学校名	年 月 日生(歳)	男・女	年															
フリガナ 氏名	S・H・R 学校名	年 月 日生(歳)	男・女	年															
フリガナ 氏名	S・H・R 学校名	年 月 日生(歳)	男・女	年															
フリガナ 氏名	S・H・R 学校名	年 月 日生(歳)	男・女	年															
フリガナ 氏名	S・H・R 学校名	年 月 日生(歳)	男・女	年															

この入会申込書に記載していただいた個人情報につきましては、新町スポーツクラブ会員名簿作成にのみ利用いたします。

上記の者の新町スポーツクラブへの入会を申し込みます。

保護者名 _____

郵便番号 〒 _____

住所 _____

電話番号 _____

緊急連絡先 _____ 父携帯・母携帯・その他() _____

メールアドレス(任意) _____ @ _____

LINE ID(任意) _____

当クラブでは、各団体・教室の活動やイベントの様子の写真をホームページや広報チラシに掲載しています。
写真の掲載について支障のある方はご連絡お願い致します。なお、個人名が特定できるような掲載は控えています。

年会費	保険料	領収印
1,000	800 (中学生以下)	
2,000	1,850 (高校生以上64歳以下)	
3,000	1,200 (65歳以上)	

NPO 法人 新町スポーツクラブ入会について

【年会費】 家族会員 3,000円 / 年 (同一世帯何人でも)
個人会員 2,000円 / 年 (一人)
*年会費は年度毎に徴収させていただきます。

【保 険】 スポーツ安全保険 活動会員一人当たり年間 (4月～3月)
800円 (中学生以下)
1,850円 (高校生以上 64歳以下)
1,200円 (65歳以上)

名称	活動日・時間	会場	対象	会費
新町SVCスポーツ少年団	日曜 10:00～12:00	新町一小校庭・体育館	小学生～大人	月 1,000円
新町空手道クラブ	月・水・金曜 19:00～21:00	(月・金)新町一小体育館 (水)新町住民体育館	幼児～大人	月 1,000円
バレーボール教室	土曜 17:30～19:00 小学生 19:00～21:00 中学生以上	新町中	小学生～大人	月 1,000円
バスケットボールサークル	土曜 18:00～20:00	新町一小体育館	中学生～大人	月 500円(会員) 一回 200円(非会員)
新町PHOENIX	水曜 19:00～20:30 土・日曜 14:30～18:00	新町一小体育館 新町防災アリーナ	小学生	月 2,500円 (1・2年 1,500円、女子 1,000円)
AVSGエヴォリスタ	学年により異なる	学年により異なる	4歳～15歳	詳しくは https://allavitasport.net
ヒップホップダンス教室	木曜 17:30～18:30 小学生 19:00～20:00 中学生	自遊空間みちくさ	小学3年～中学生	月 7,000円
野球教室	土曜 14:00～17:00	烏川運動場 新町中校庭	小学4年～中学生	月 1,000円
剣道クラブ	火・金・土曜 19:00～21:00	新町防災アリーナ	幼児～大人	年 18,000円(小学生) 年 9,000円(中学生)
新町のび会 (和太鼓)	金曜 19:00～21:00 日曜 18:00～21:00(中学生以上)	新町公民館	小学生～大人	月 2,000円
なぎなたクラブ	水曜 19:00～21:00	新町児童体育館	小学生～大人	月 500円(高校生まで) 月 1,000円(大人)

前月末までに申請のあった場合を除き、自己都合による欠席は会費を徴収します。

* 市有施設利用規定に基づき、利用者の保険加入は必須になります。

多くの指導者は、無償ボランティア ～ ～ 会員がスタッフ ～ ～



スタート

- ・ 2001年10月から笹川スポーツ財団からの補助金で部活動支援開始
- ・ 指導者には、少額の謝金を用意したが、多くが公務員のため辞退

現在

- ・ バレー、バスケ、陸上は、地域住民が無償ボランティア
- ・ 野球は、中学校教員が無償ボランティア
- ・ 水泳は、部活動指導員（民間企業の水泳コーチ）として時給を高崎市から支給

将来

- ・ 地域部活動として活動する人は、全員をクラブ会員として管理
- ・ 指導者も資格取得が必要な場合は、資格取得にかかる費用を補助

新町スポーツクラブと学校の信頼関係



【施設利用としての信頼関係】

- ◎ 新町中学校校庭のミニゴール1組・体育館内のバレーボールネット支柱2組バレーボール等は倉庫に保管してもらい、学校にも使用してもらえる関係
- ◎ 新町第一小学校の体育館西側に倉庫2棟を置かせていただき、体育館内にも用具、ボールを保管してもらっています。

【学校事業運営補助】

- ◎ 第一小・第二小共に、総合学習の時間で障害者スポーツ体験教室を実施する際、講師の手配、車いすの搬送、授業サポートを行っています。
- ◎ 新町中学校において、人権に関する講演会を開催する際、トップアスリートの手配 体育のダンス授業支援（講師派遣と授業プログラム作成等）等の協力を行っている。
- ◎ 現在、小出理事長が新町第一小と新町中学校の学校運営委員を任命され、なおかつ、新町第一小学校の特別支援学級体育授業とプール指導補助として支援している。

NPO法人新町スポーツクラブ主催 オンライン研修会を実施

主題: 主役の生徒を中心に考える部活動改革について



第1回オンライン研修会開催要項

1. 目的 今後、導入される登録・認証制度と部活動の地域移行について、各地先進的な活動状況を学ぶ機会を設けることを目的としている。
2. 主催 NPO法人新町スポーツクラブ
3. 会場 オンライン配信(ZOOM)を活用
4. 日時 2021年2月6日(土)19時~20時30分
5. テーマ 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度と部活動の地域移行の現状
6. 講師 九州ブロック代表幹事 熊本県 高藤久允氏 熊本県内における登録・認証制度の現状 岐阜県白川町(一)初スポーツリンク白川 野尻 悟氏・渡辺晴代女士 新しいスポーツ組織に変革して取り組む中学部活動支援活動 北海道常呂町・NPO法人常呂内スポーツクラブクラブマネジャー 小田新紀氏 常呂高等学校とNPO法人常呂内スポーツクラブの連携事業の事例
7. 当日の予定スケジュール 斎藤氏、リンク白川の野尻氏と渡辺氏、小田氏からそれぞれ20分程度のレクチャーを受けて、レクチャー終了後直ちに質疑応答とします。
8. 参加対象 全国の総合型地域スポーツクラブ関係者とテーマに興味がある方 最大参加者数は90名まで(ZOOMの契約の関限)
9. 申込み方法と参加方法 2月4日(木)までに小出の shimmachisco@gmail.com へ zoom で使用するパソコンから氏名・所属・役職をメールにて送信してください。 申し込みを受けた方へ、小出から2/4以降にアクセスするURL等を申し込みいただいたメールアドレスへ返信いたします。

以上

第2回NPO法人新町スポーツクラブ オンライン研修会開催要項

1. 目的 部活動の地域移行について、主役となる中学生・高校生の意見を直近の中学校部活動経験者である大学生・高校生から意見を聞くと共に、ドイツ・ニュルンベルグスポーツユースリーグとの国際交流を経験したことから感じる日本のスポーツについて併せて聞くことを目的とする。
2. 主催 NPO法人新町スポーツクラブ
3. 会場 オンライン配信(ZOOM)を活用
4. 日時 2021年3月9日(火)19時~20時30分
5. テーマ 部活動の地域移行に対する青少年からの意見
6. 意見を述べる者 NPO法人新町スポーツクラブ ユースボランティア 武士文彦 君 (大)中学で陸上をスタートして大学まで本格的に部活動を行った 高橋 舞さん (大)中学で剣道、高校は軽音楽部で活動 高橋 優季さん (大)中学で剣道、高校は合唱部で活動 高橋 唯花さん (大)中学から高校までソフトテニス部で活動 堀越 光 君 (大)小学生から高校までソフトテニス部で活動 小手川 青菜さん (大)中学で剣道、高校は弓道部で活動 藤堂 みくさん (大)中学で陸上部と女子サッカーで活動 小手川 温陽君 (高)中学で卓球部、高校は卓球部とダンス部で活動
7. 当日の予定スケジュール 上記のユースボランティアから別紙の内容について、担当質問項目について意見を述べます。全員の意見を聞いた後で質疑応答とします。
8. 参加対象 全国の総合型地域スポーツクラブ関係者とテーマに興味がある方 最大参加者数は90名まで(ZOOMの契約の関限)
9. 申込み方法と参加方法 3月5日(金)までに小出の shimmachisco@gmail.com へ zoom で使用するパソコンから氏名・所属・役職をメールにて送信してください。 申し込みを受けた方へ、小出から3月1日以降にアクセスするURL等を申し込みいただいたメールアドレスへ返信いたします。

第3回オンライン研修会開催要項

1. 目的 部活動の地域移行について、2021年3月9日大阪教育大学附属平野高校における新たな取り組み事例となる「スクール・コミュニティクラブ、ひらの倶楽部」について設立の趣旨などについて具体的に学ぶことを目的とする。
2. 主催 NPO法人新町スポーツクラブ
3. 会場 オンライン配信(ZOOM)を活用
4. 日時 2021年5月11日(火)16時~17時30分
5. テーマ 地域部活動の今後の在り方「スクール・コミュニティクラブ、ひらの倶楽部」とは
6. 講師 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 道路研究部 部長 スクール・コミュニティクラブ、ひらの倶楽部 会長 松田雅彦氏
7. 当日の予定スケジュール 松田講師から60分程度程度のレクチャーを受けて、レクチャー終了後直ちに質疑応答とします。
8. 参加対象 全国の総合型地域スポーツクラブ関係者とテーマに興味がある方 最大参加者数は90名まで(ZOOMの契約の関限)
9. 申込み方法と参加方法 5月6日(木)までに小出の shimmachisco@gmail.com へ zoom で使用するパソコンから氏名・所属・役職をメールにて送信してください。 申し込みを受けた方へ、小出から5/7以降にアクセスするURL等を申し込みいただいたメールアドレスへ返信いたします。

以上

中学校教員中心の野球教室

「部活動支援事業」

2021年11月6日

烏川グランドからプレーボール

『野球教室』

主催：NPO法人新町スポーツクラブ

1.開催場所：新町中学校校庭
烏川グランド(11月6日は烏川グランド)

2.開催曜日・時間：毎週土曜日
14時～17時(11月6日は烏川グランド)
18時～20時

3.指導者：上原裕道・小林大介・江原祐太(敬称略)

4.対象者：中学生～小学4年生まで

5.用具などについて
野球用具等は各自ご用意ください
スポーツができる服装で来てください

6.年会費・月会費・保険代
(1) クラブの年会費 個人会員2千円・家族会員3千円
すでに家族のどなたかが個人会員の場合は、千円追加のみ
(2) 月会費千円(クラブ事務職員の人件費・消耗品類購入費用等)
(3) スポーツ安全保険代 小中学生 800円



【問合せ先】

NPO法人新町スポーツクラブ
E-mail: shimmachic.sc@gmail.com
TEL: 090-3912-0043 小出利一



指導者は、全員が教員
新町スポーツクラブとしては、初めて
組織体制の教室
今後は、中3で部活が終わった生徒に
硬式野球の指導も視野に入れてます。

現在の新町スポーツクラブと新町中学校の支援について



部活動支援

- ・ 毎週土曜日 バレー・バスケ・野球支援
- ・ 令和4年4月から陸上・水泳も支援

体育授業支援

- ・ 令和3年度3学期2月・3月から 中1～中3の体育ダンス授業の指導⇒生徒主導の発表会へ

ゆるスポ支援

- ・ 令和4年度体育授業にボッチャ・モルック等を取り入れる授業を指導予定



Shinmachi

連携・協働等の言葉の定義を明確に 学校と地域が共に目指す方向

学校と地域の協働となる

コミュニティースクール化を視野に入れて

大切な言葉の定義

連携

- ・ 学校と受け皿団体のミッションが違う
- ・ 利害関係で一致する関係

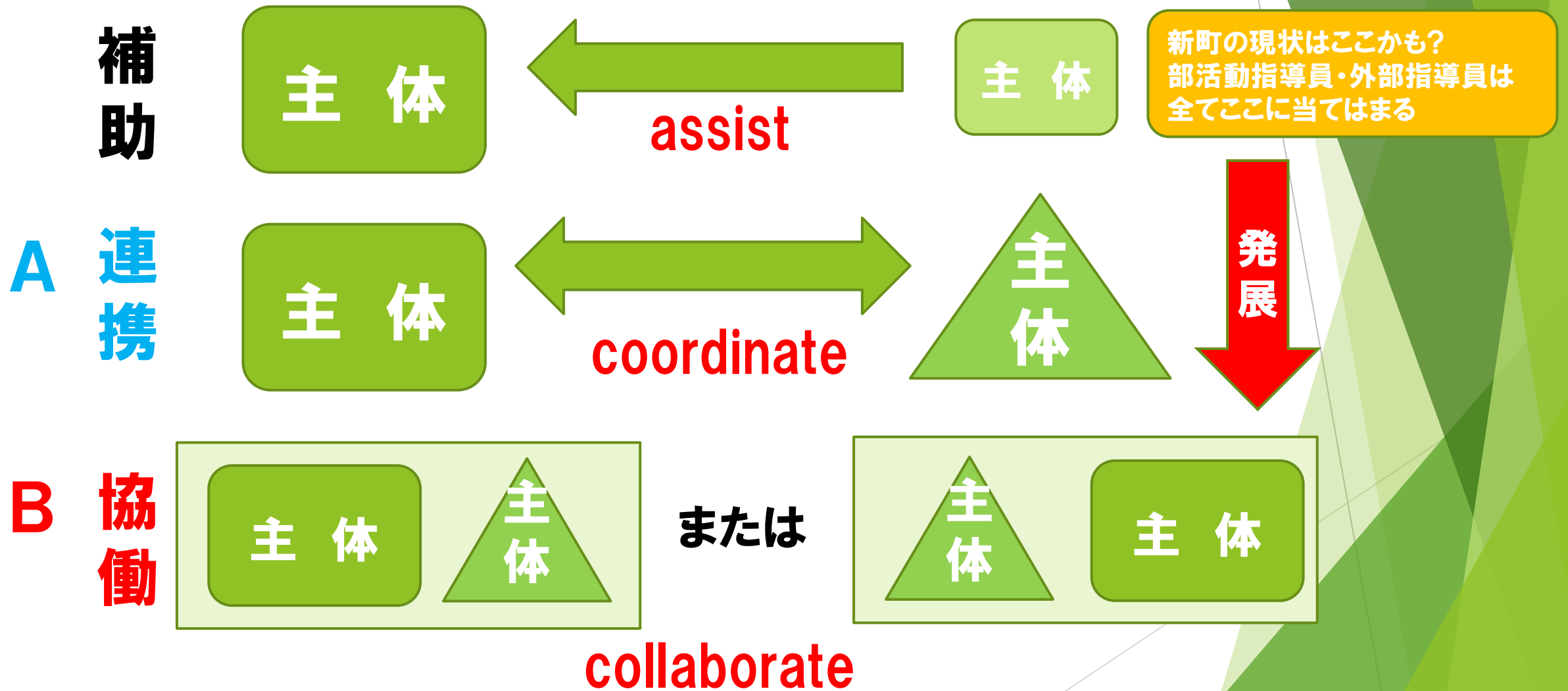
協働

- ・ 学校と受け皿団体のミッションを共有する関係
- ・ 一緒に考えて同じ方向へ向かって進む

地域部活動

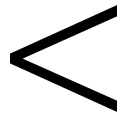
- ・ 地域で青少年達のスポーツ文化活動を多世代で支える活動（中学生だけの活動ではない）

補助・連携・協働の関係性



地域部活動における連携・協働のスタイル①

現状；補助型：assist
外部団体が学校のお手伝いをする



A:連携型：coordinate
同じ方向をむいている人たちが力を合わせてものごとを行う

新町中
学校や
高崎市
教育
委員会



NPO法人新町
スポーツクラブ



外部指導者
部活動指導員

新町中学校
や高崎市
教育委員会



NPO法人新町
スポーツクラブ等

スポー
ツ分門

音楽
芸術
部門

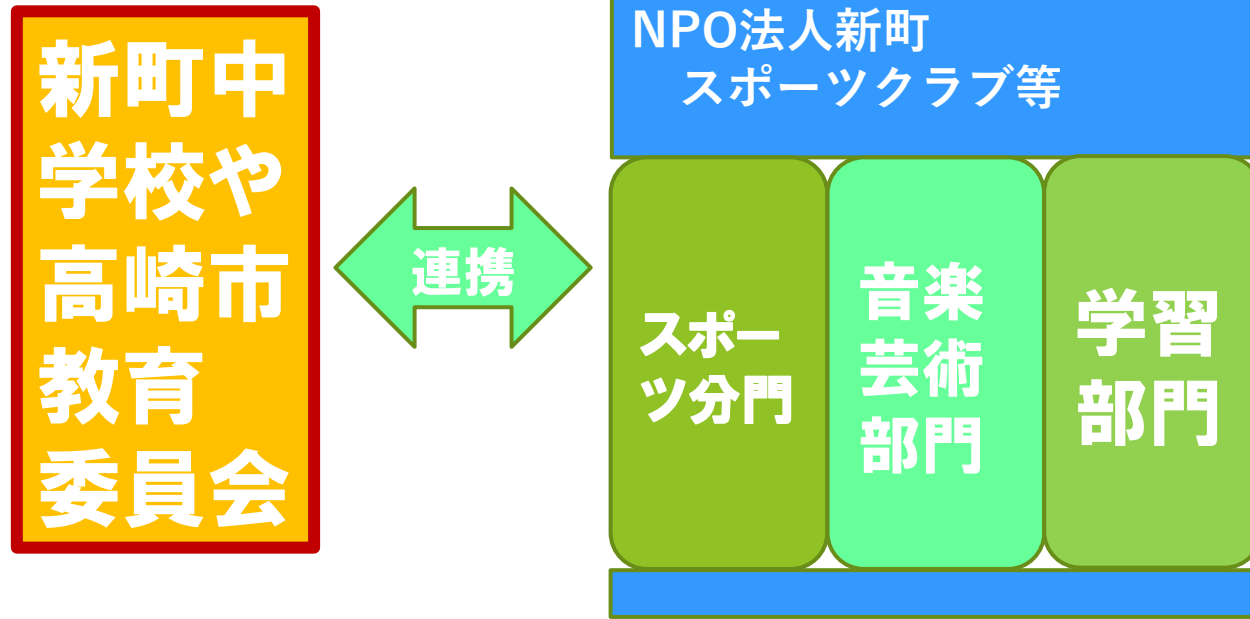
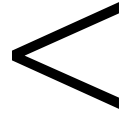
学習
部門

外部の団体や個人が学校のお手伝いをする
例:外部指導者の派遣など

地域部活動における連携・協働のスタイル②

A:連携型 : coordinate

同じ方向をむいている人たちが力を合わせてものごとを行う



例：互いに連絡を取り合い、協力して地域部活動を実施する（連携のとりまとめはどちらかの主体になる可能性が大）

B:協働型 : collaborate

お互いが目的を共有して当事者意識を持ち、よい結果を生み出すために協力して働くこと



新町スポーツクラブと新町中学校が目指す組織

地域で新町中学校部活動を 支える仕組みへ



【活動理念の共有】

- ・生徒が中心となる活動（学校教育の一環であり勝利至上主義にならない）
- ・生徒が自主的に楽しく取り組めて将来に役立つ活動となるように支援する

【理念を共有してもらいたい組織】

- ・新町中学校教職員、新町中学校PTA、生徒
- ・NPO法人新町スポーツクラブ等関係する地域指導者
- ・県・高崎市教育委員会
- ・県スポーツ振興課、県スポーツ協会、高崎市スポーツ協会

【地域部活動受け皿組織】

- ・NPO法人新町スポーツクラブを発展的解消して一般社団法人学校組織と一体になって協働活動ができる組織へ





新町中学校と



新町スポーツクラブは
密接に協働



NPO法人新町スポーツ
クラブ等地域指導者

高崎市立新町中学校
主役は生徒

高崎市立新町中学校
教職員・PTA



支援・助言・連携

支援・助言・連携



高崎市
高崎市教育委員会

連携・支援



群馬県スポーツ協会



群馬県
群馬県教育委員会
群馬県スポーツ振興課

The OECD Learning Compass 2030

共同のエージェンシー：仲間、先生、家族、地域社会

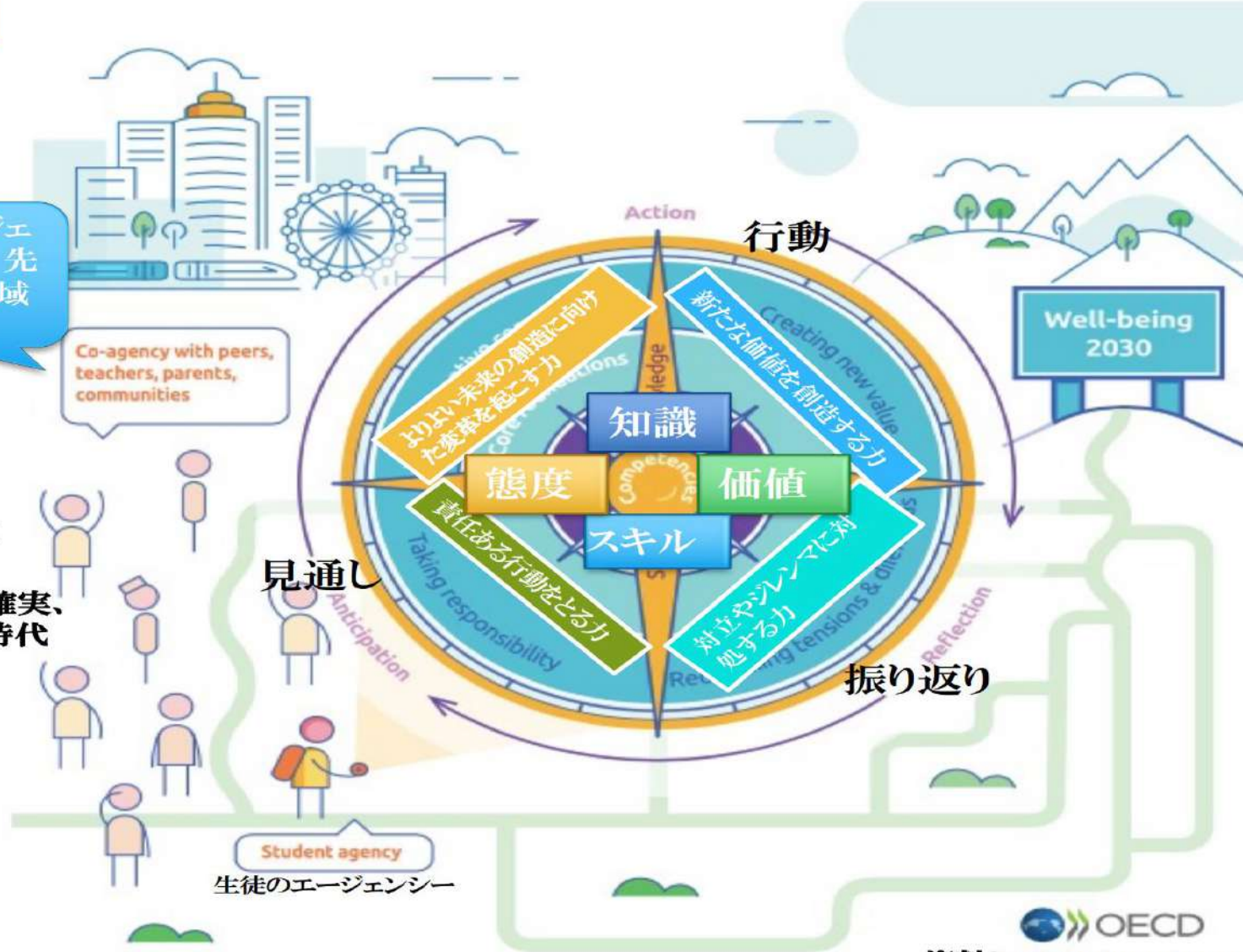
Co-agency with peers, teachers, parents, communities

これからの世界

予測困難で不確実、複雑で曖昧な時代

Volatile
Uncertain
Complex
Ambiguous

Student agency
生徒のエージェンシー



【共通の目的】

2030年の世界がより良くあること



資料：OECD Education 2030 プロジェクトより

Well-Being2030の実現 エージェンシーの育成

学習社会の創造へ

学びたい人が学びたいときに学べる社会



ミッション: 2030年にみんながよりよく生きていける世界にする!

⇒ 何が課題か、それが問題

→ SDGs (17の目標と169のターゲット)

⇒ エージェンシーを育むことが必要

→ 学校も地域も共通の課題

* NPO法人新町スポーツクラブと新町中学校の協働により、Well-Being2030の実現に向かう!!

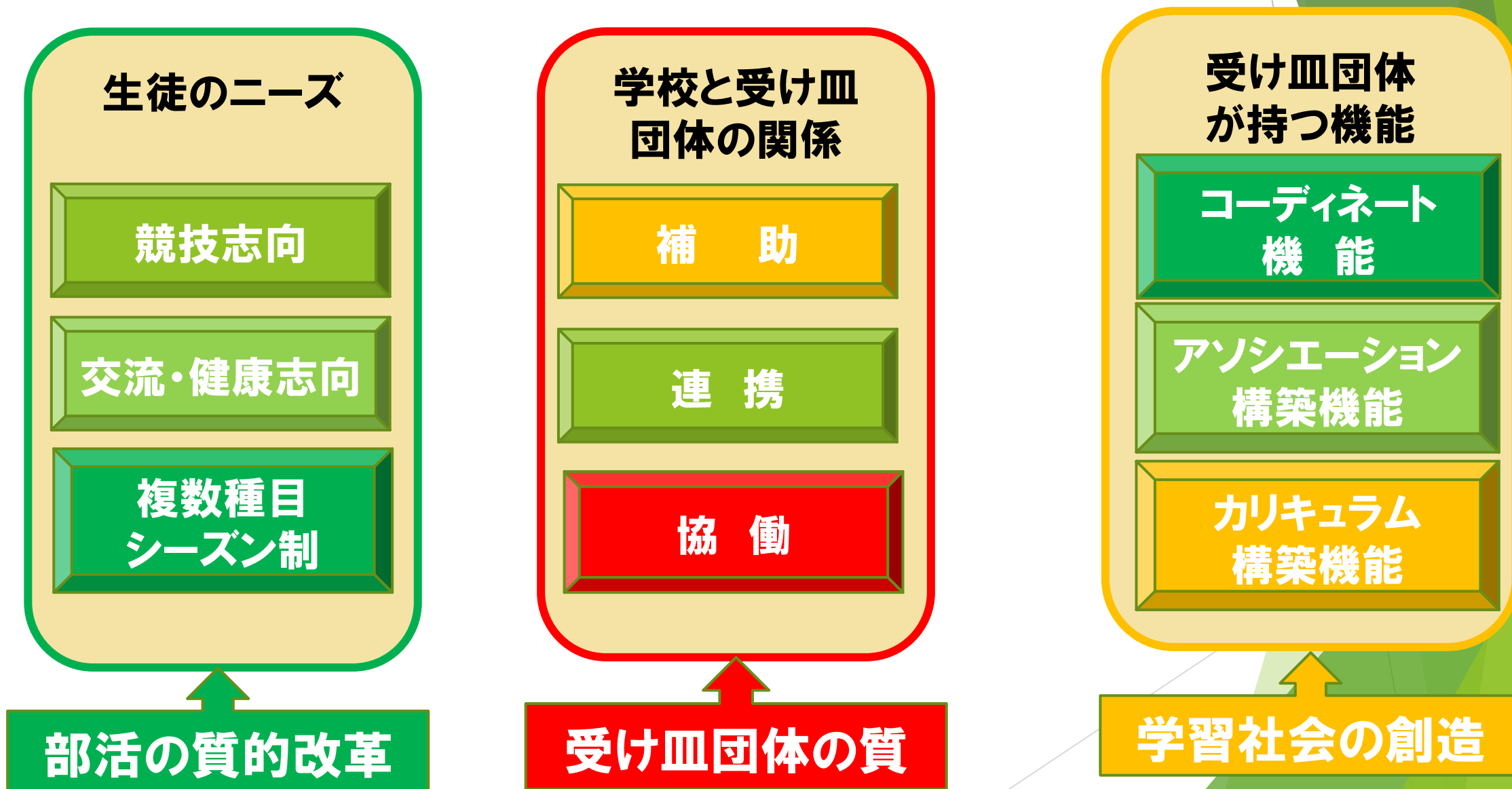
学校の資源×地域の資源 ⇒ 新しい価値の創造

→ 自ら課題を発見し、困難を乗り越えて解決していく
(エージェンシーを発揮する)場の創造

スポーツ庁 提言 重要なことは第10章に記されている

- ▶ **誰もが参加しやすい運動、文化部活動**
- ▶ **複数の活動を経験できる活動日数や時間**
- ▶ **活動時間の適正化**
- ▶ **指導体制の見直し**
- ▶ **地域のスポーツ団体等との連携・協働**

部活動の地域移行に関する評価軸



財源は必要です。それにも増して必要なことは人材育成です。
特に、学校と地域を繋ぐコーディネーターの育成が大切



【持続可能な**地域部活動**に必要なこと】

- ◎ **地域スポーツクラブが地域から信頼されていること**
- ◎ **地域内で安定的に指導者がいること**
日本人全体の働き方改革が必要
- ◎ **地域スポーツクラブと学校の間にはコーディネーターが必要**
校長の考え方に活動が不安定化したように、地域スポーツクラブと学校との連携に必要な人材（育成）が必要
- ◎ **生徒の保護者との信頼関係構築に学校と連携する**
- ◎ **市町村行政の財政・人材確保の支援が必要**



Shinmachi

令和5年度スポーツ庁・文部科学省概算要求 と 令和4年度経済産業省未来のブカツ予算

提言に対する令和5年度概算要求

地域スポーツクラブ活動体制整備事業等

令和5年度要求・要望額
(前年度予算額)

10,193,182千円
1,517,423千円)



方向性・目指す姿

- 令和5年度以降の休日の運動部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、**スポーツ団体等の整備充実、指導者確保、参加費用負担への支援等を総合的に推進。**
- 地域の実情に応じスポーツ活動の**最適化**を図り、**体験格差を解消。**

- **少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。**学校の働き方改革を推進し、**学校教育の質も向上。**
- **自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。**部活動の意義の継承・発展、**新しい価値の創出。**
- **地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、多様な体験機会を確保。**

事業内容

I. 運動部活動の地域移行に向けた支援 7,669百万円 新規

- ①コーディネーター配置支援等体制整備** (補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1
 - ・都道府県・市区町村において、関係者との連絡調整・指導助言等を行う総括コーディネーターの配置や協議会の設置等の体制を構築する。
 - ・地域スポーツクラブ活動の運営団体・実施主体と中学校との連絡調整・安全管理、指導者の派遣管理等を行うコーディネーターを配置する。
- ②運営団体・実施主体の整備充実** (補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1
 - ・地域スポーツクラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実のため、持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保に係る取組等を支援する。
- ③指導者配置支援等体制整備等**
 - ・実技指導等を行う指導者を配置 (補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1するとともに、広域的な人材バンクを設置 (補助割合：国1/3、都道府県2/3) する。
 - ・指導者養成のための講習会等の開催や、資格制度の改革等を行う。
(日本スポーツ協会補助・日本バラスポーツ協会補助【再掲】)
- ④参加費用負担への支援** (補助割合：国1/2、市区町村(指定都市含む)1/2)
 - ・経済的に困窮する世帯の子供が地域スポーツクラブ活動に参加できなくなるまいよう、地域移行に伴い新たに必要となる会費等について支援を行う。

II. アドバイザー事務局の設置・派遣等 142百万円 新規

アドバイザー事務局を設置し、全国の自治体等からの相談業務やアドバイザー派遣等を行う。

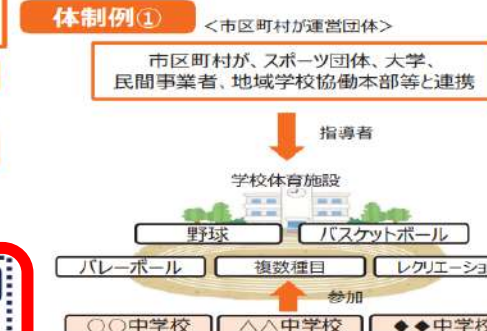
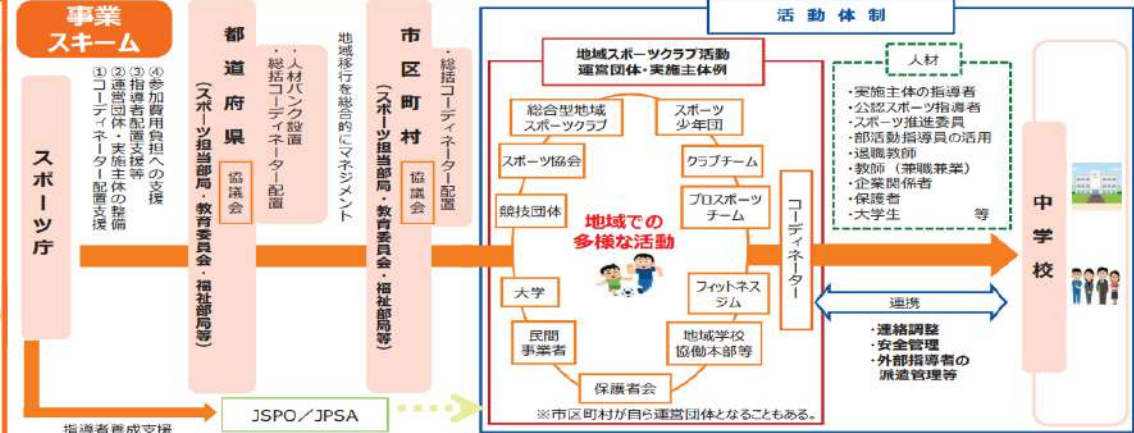
III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等 366百万円 拡充

地域スポーツクラブ活動のモデル創出(全運動部活動を地域スポーツクラブ活動とする取組、複数種目・体験型キャンプの取組等)に係る実践研究、拠点校における合理的で効率的な活動の推進、子供にとって望ましい大会の推進等に取り組む。

IV. 中学校における部活動指導員の配置支援 2,016百万円 拡充

各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1

▶ **部活動指導員の配置を充実【18,000人】**



※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3。
 ※2 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む。体制例は、あくまでも一例である。
 ※3 toto助成については、助成メニュー(施設整備・マイクロスピーカー配置等)の中で、運動部活動の地域移行に特化した支援を検討中。

「日本らしいスポーツホスピタリティ」を取り入れたスポーツによる地方創生・まちづくり推進していくため、スポーツツーリズムを中心にスポーツを活用したまちづくりを推進する「**地域スポーツコミッション**」(地域SC)の「**質の向上**」に向け、①**新たな事業展開へのチャレンジ等**をモデル的に支援するとともに、②**基盤となる人材の育成・確保**の取組を推進する。

多角的な事業展開への新たなチャレンジ 「地域SC経営多角化等支援事業」

- 地域SCの多角的な事業展開を後押しするため、
 - スポーツツーリズムのコンテンツ開発などの**交流人口を拡大する事業**(アウター事業)
 - 運動教室などを通じた、**地域住民同士の交流促進**を図る事業(インナー事業)
 などの新たなチャレンジをモデル的に支援
- 地域を挙げた取組を一層後押しするため、地域SCの**新設**に必要な費用を支援

多角化：上限10,000千円×15地域想定
新設：上限2,500千円×4地域想定

側面支援、地域SC基盤人材の育成・確保 「地域SC基盤人材育成サポート事業」

- 地域SC経営多角化等支援事業に対し、**個別にコンサルティング**し、補助事業の効果を最大化
- 令和4年度に実施した、地域SCの中心となる人材の確保・育成に関するニーズ把握等の調査結果を踏まえ、**人材マッチングや人材育成手法をモデル的に実証**
- 各地域SC間や、地域SCの中心となる人材間の知見・ノウハウの共有化を図るため、**相互のネットワーク作りを促進**



地域の自治体、スポーツ団体、民間企業・団体等が一体となりスポーツによる地域振興に取り組む組織。
※ 地域外からの交流人口拡大のための活動は必須要件

【地域SCの経営の安定】

●アウター事業の事例：

恒常的なスポーツ誘客が可能な「**通期・通年型スポーツアクティビティの創出**」



日本発祥の武道をコンテンツ化



ホストタウンのレガシー化

【地域SCの担い手の育成・確保】

側面サポート

●インナー事業の事例：

地域コミュニティの活性化を図る「**交流イベント・スポーツインライフの推進**」



オリンピックによるランニング教室



企業・地域が連携した多世代運動会

スポーツによる地方創生・まちづくりへ

地域と学校の連携・協働体制構築事業

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

令和5年度要求・要望額

103億円

(前年度予算額)

69億円



文部科学省

背景・課題

- ▶ 予測困難なこれからの社会においては、**学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や子供たちの成長を支えることが重要**
- ▶ コミュニティ・スクールは、学校や子供たちの課題の解決に向けて、**保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持つ「当事者」として学校運営に参画**する学校運営協議会を置く学校（R3時点：11,856校）
- ▶ 社会教育活動である**地域学校協働活動と密接につながる**ことで、社会に開かれた教育課程の実現、いじめ・不登校、学校における働き方改革、福祉・まちづくり・地域防災などの課題にも効果的な対応が可能となるため、**全ての学校でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進**することが必要

経済財政運営と改革の基本方針2022

(令和4年6月7日閣議決定)

第2章 新しい資本主義に向けた改革

- 2. 社会課題の解決に向けた取組
- (2) 包摂社会の実現（共生社会づくり）

地域と学校が連携したコミュニティ・スクールの導入を加速するとともに、…（略）

事業内容

【事業の概要】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する自治体の取組に対する財政支援（自治体向け補助事業）

対象（交付先）：都道府県・政令市・中核市

要件：① コミュニティ・スクールの導入又は導入計画があること
② 地域学校協働活動推進員を配置していること

補助率等：国 1/3、都道府県 1/3、市町村 1/3
(10,000か所×約98万円（国庫補助）)

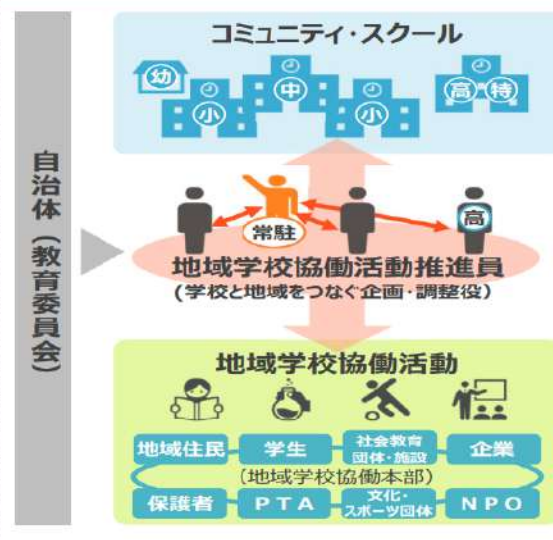
支援内容：地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等に係る諸謝金、活動に必要な消耗品費等

【取組例】（岡山県浅口市）

コミュニティ・スクールでの協議により、業務の見直しや効果的な地域学校協働活動を実施し、学校における働き方改革を実現



【具体的な取組】



（主なポイント）

- ▶ **地域学校協働活動推進員の配置**
 - 10,000か所（31,000人）
 - うち**10,000人**を常駐化（8,000人増）
 - 新たに高校等 **1,000人**増
- ▶ **地域学校協働活動の実施**
 - ① **学校の働き方改革**に資する取組
 - ② **学習支援**や**体験・交流活動**
 - 特に、**困難を抱える子供への対応**
 - 企業等と連携した活動**
 - 学校の部活動支援との連携**等
 - 課題に対応するための活動を充実
- ▶ **教育委員会の伴走支援体制の強化**
 - **CSアドバイザーの配置**（都道府県等）
 - 研修の充実
 - デジタル技術の活用促進

【アウトプット（活動目標）】

- 地域学校協働活動推進員等の配置
(R4) 30,000人 → (R5) 31,000人
- 地域学校協働活動（学校の働き方改革に資する取組等）の充実

【アウトカム（成果目標）】

- コミュニティ・スクール導入校数の増加
R4(予定) 14,000校 → R5(予定) 17,000校 → R6(予定) 20,000校
- 学校の働き方改革に資する取組を実施する学校数の増加 (R3年度：55%)

【インパクト、目指すべき姿】

- 全ての公立学校・地域において、地域と学校の連携・協働体制を構築し、地域全体で子供たちの成長を支える社会を実現

公募テーマ：

「未来のブカツビジョン」の実現に関するテーマ

D- I 「部活動地域移行の受け皿モデル創出に向けた実証」

事業名

[事務局コメント]

本テンプレートはあくまで提案書作成の参考です。
大枠の流れ（目次など）を守って頂ければ、詳細な構成・デザインは、ご提案ごとに自由に変えて頂いて構いません。

複数の事業を提案する場合は、それぞれの事業でファイルを分けてください。

当該提案書はPower Point版とPDF版の両方をご提出ください。

また、Excelの支出計画書を提出することも必須ですのでご注意ください。

(このオブジェクトは提出時には削除してください)

事業者名

提案書作成日



未来の
ブカツ
SPORTS



公募テーマ：

「未来のブカツビジョン」の実現に関するテーマ

D-Ⅱ「部活動地域移行における個別論点F/S事業」

事業名

事業者名

提案書作成日

[事務局コメント]

本テンプレートはあくまで提案書作成の参考です。
大枠の流れ（目次など）を守って頂ければ、詳細な構成・デザインは、ご提案ごとに自由に変えて頂いて構いません。

複数の事業を提案する場合は、それぞれの事業でファイルを分けてください。

当該提案書はPower Point版とPDF版の両方をご提出ください。

また、Excelの支出計画書を提出することも必須ですのでご注意ください。

(このオブジェクトは提出時には削除してください)



未来の
ブカツ
SPORTS





ドイツから学んだ青少年スポーツ環境

スポーツ少年団の人材育成を継続していたからできた好循環

地域で活躍する スポーツユースボランティア (スポーツ少年団リーダー)

高崎市新町地域 町民親善体育大会の活躍

子ども達のプログラムは、スポーツクラブが
企画運営全てを担当

- 体育大会の進行役は大学生担当
- 幼児から小学生対象の障害物競走の
- 企画運営は、中学生と高校生担当
- スポーツクラブとスポーツ少年団対抗
- リレーも企画運営は、中学生と高校生担当
- その他、大会運営補助全般担当



ドイツにおけるスポーツユース組織



**「スポーツ少年団も
総合型クラブも
見本はドイツ」**
そのドイツの組織は
スポーツクラブの青少年層
がスポーツユースとして
当然 一体化しています

ドイツ国内 約90,000クラブ
(全てフェアイン)の青少年層を
スポーツユース称しています。

**6歳から27歳まで
ドイツスポーツユース**

新町スポーツクラブは基本 ドイツ的な組織づくり

過去8回ドイツ ニュルンベルク市と 国際交流受入事業



この事業には、たくさんのホストファミリーが1週間にわたって、ドイツの青少年のお世話もしてくれます。
この受入事業の企画運営も前回、新町から派遣されたユースボランティアが、たくさんの大人の人達に協力していただきながら実施しています。



コロナ禍だからできたニュルンベルク市と 初の青少年オンライン国際交流会 (2021.7.23~25)



オンライン国際交流会がもたらした成果

【青少年達の言葉】

- ① コロナ禍だからできない
→ コロナ禍だからできるへの変化
オンライン交流が距離感を短くした
- ② オリンピック開会式を同時に視聴した
ことがオリンピックレガシーへ繋がった
- ② オンラインで交流したことで、より一層
ドイツへ行って会いたくなった。
- ③ 改めて、自分たちが住んでいる地域の
良さを感じた

2021年度←

第1回・ニュルンベルク市・新町・大津町←
青少年国際オンライン交流会報告書←

「青少年達が自ら作り上げたオリンピックレガシー」←



開催日:2021年7月23日(金)~7月25日(日)←

場 所:高崎市立新町第一小学校地域開放会議室←

家庭科室(調理交流)←

主催団体:ニュルンベルク市スポーツユース←

NPO 法人新町スポーツクラブ←

NPO 法人クラブおおづ(熊本県大津町)←

オンライン交流会 冬 2021.12.18 (土) 8時間の時差も距離も 障害にならない交流



ニュルンベルクから送られたシュトーレン・レープクーヘン (ニュルンベルク名物菓子) を食べて気分はドイツのクリスマス

第8回ニュルンベルク市青少年国際交流派遣事業

交流テーマ【戦争と平和】と【ジェンダースポーツ】

①ウクライナから避難して来た青少年も一緒に交流下の写真は、東西ドイツに分断時、村の真ん中にできた壁を前にして分断当時の歴史を学んだ。

② ハンドボール地域リーグ戦は、年齢も性別も関係ないチーム編成で全力で楽しみながらの大会



ニュルンベルク市はナチスドイツの歴史的遺跡がある上の写真は、第三帝国会議場建設途中の戦跡このほかに、ツェッペリン広場には、ヒトラーが演説した場所がそのまま残っている。

**歴史を学び、地域を学ぶ=地域愛を育む
そのことが、地域で役立つ人材育成となっている**

第8回ニュルンベルク市青少年
国際交流派遣事業報告書

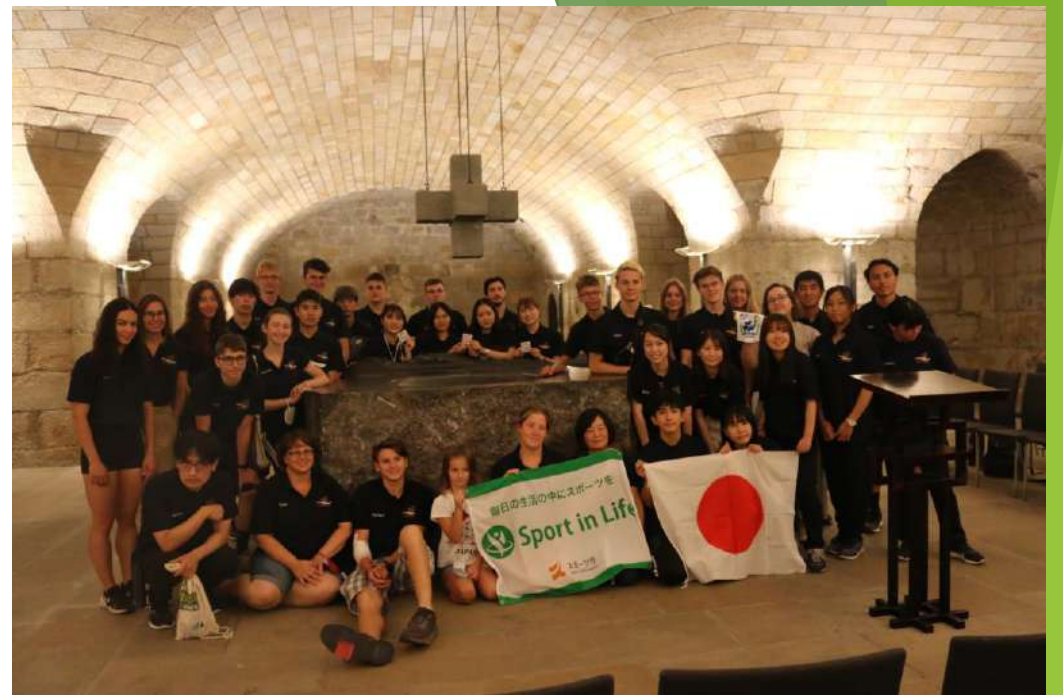


ニュルンベルク市市長表敬訪問記念撮影



派遣期間: 2022年8月4日(木)~8月17日(水)
 派遣団員: NPO 法人新町スポーツクラブ・NPO 法人クラブおおつ
 受入団体: ドイツ連邦共和国バイエルン州 ニュルンベルク市スポーツユエーゲン
 訪問都市: ニュルンベルク市・ドレスデン市(8月8日~8月10日 2泊3日のみ)
 後 援: 群馬県スポーツ協会・高崎市

発行責任者: NPO 法人新町スポーツクラブ
 理事長 小 出 利 一
 連絡先: shimachi.scl@gmail.com
 090-3912-0043



2017年度から開始した、総合型地域スポーツクラブ関係者のためのドイツ視察研修会



第2回ドイツスポーツクラブ視察研修会

フランクフルト市・デュースブルク市へ

主催:群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

主管:NPO法人新町スポーツクラブ

視察期間:2019年11月23日(金)~12月1日(日)



デュースブルク市スポーツ施設・宿泊場所など



フランクフルト市&デュースブルク市訪問

- ・大規模クラブと小規模クラブ、スポーツクラブが経営するスポーツ幼稚園等
- ・ブンデスリーグの試合観戦(試合予定があれば)
- ・国・州・市各レベルでのスポーツ行政に関するレクチャー

※ 詳細は裏面を参照ください



DOSBとフランクフルト市内



第2回ドイツスポーツクラブ視察研修会開催要項
(スポーツフォー トゥモローコンソーシアム認定事業)

【主 旨】:総合型地域スポーツクラブ育成の手本となっているドイツ連邦共和国のスポーツクラブの現地視察を行い、今後、全国の総合型地域スポーツクラブ運営等に役立てる人材育成を目的とした研修会とする。

1. 期 間:2019年11月23日(土)~12月1日(日)
2. 主 催:群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
3. 主 管:NPO法人新町スポーツクラブ
4. 後 援:外務省・スポーツ庁(スポーツフォー トゥモローコンソーシアム認定事業) 公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 公益財団法人群馬県スポーツ協会・高崎市・在フランクフルト日本総領事館
5. 予定しているスケジュール
11/23(土)羽田発 11:15 ころ フランクフルト空港着 15:40到着予定
11/23(土)~11/25(火) フランクフルト滞在予定
11/25(火)~30(金)デュースブルク市滞在
11/30(土) フランクフルト空港発 20:45 12/1(日)羽田空港着 17:15
6. 費 用:319,000円程度を予定(往復航空券・ドイツ国内鉄道券・宿泊費・朝食・通訳費を含む)
7. 参加者:15名
8. 応募要件:① 心身ともに健康で、総合型地域スポーツクラブについて学習意欲がある者
② 幼児を含めた子どものスポーツ指導について学習意欲がある者
③ 健康スポーツ・予防スポーツについて学習意欲がある者
9. ドイツ国内滞在予定都市と滞在期間中の予定(予定なので変更もあります)
(1)フランクフルト市
・ドイツオリンピックスポーツ連盟訪問
・フランクフルト周辺都市の小規模クラブ視察
・ヘッセン州スポーツ連盟訪問
・24日(日)ゲームがあればブンデスリーグの試合観戦
(2)デュースブルク市並びに周辺都市
・デュースブルク市スポーツ協会を表敬訪問
・規模が大小スポーツクラブとスポーツ保育園などを視察
・市内の歴史的公園の視察など市内観光
8. 通訳:高橋靴子女史(フランクフルト付近在住 元ドイツオリンピックスポーツ連盟日本担当)
9. 旅行手配委託旅行会社(群馬県知事登録旅行業第3-497)
(株)klar fahrt 担当 小出副所長(NPO法人新町スポーツクラブ理事長)
〒371-0805 群馬県前橋市南町2-65-2 TEL 090-3912-0043
10. 申込み・問い合わせ先 NPO法人新町スポーツクラブ 小出まで fahrt@klar.co.jp
お問い合わせいただいた方には、申込みに必要な「参加申込書」をメールにて送信いたします。



人材育成のために、自分たちの強みを活かして全国のクラブを応援

ご清聴ありがとうございました。

- **左の写真**

ニュルンベルク市 マルクト広場

フラウエン教会 (時計は仕掛け時計)

**8月6日は、「ヒロシマデー」として
毎年、ミサがある教会です。**

**ドイツでは、8月6日、全国各地の教会
において広島・長崎の原爆被爆者に対
するミサが開かれます。**

